

第10号様式(第7項関係)

政 務 活 動 出 張 報 告 書

令和6年4月30日

会派名 日本共産党
代表者 黒木 初 様

出張者 黒木 初

次のとおり、政務活動のため出張したので、その概要を報告します。

1 出 張 先

4月 25 日 国土交通省武雄河川事務所・国土交通省九州地方整備局

2 出張日時

令和6年4月25日 ～ 令和6年4月25日 午前10時～午後2時45分

3 政務活動事項

- ・ 松浦川水系河川整備計画に基づき事前防災のための予算の大幅な拡大。
- ・ 徳須恵川中下流部の河川改修事業の促進。
- ・ 厳木川中流部の河川改修事業の推進及び本山鉄道協・本山県道橋早期架け替え促進。

4 政務活動結果

別紙報告書のとおり

5 費 用

¥ 5,340円

松浦川改修促進期成会報告書

日本共産党唐津市議団 黒木 初

4月25日に武雄河川事務所、九州整備局に松浦川改修事業促進に関する要望活動を唐津市議会としておこない、日本共産党唐津市議団を代表して参加いたしましたので、その旨報告いたします。

国土交通省九州整備局 武雄河川事務所

武雄河川事務所にて、「松浦川改修事業促進に関する要望書」を提出し、中村都市整備委員長が要望内容の説明を行いました。

その後に松浦川水系事業概要のについて説明が行われ、昨年豪雨災害の詳細説明が行われ、令和6年度武岡戦事務所に予算配分された額は18億3千万。

令和6年度の河川整備として、石志・千々賀地区において、石志3号樋管の整備を実施中であり、今後は千々賀地区の樋管3基及び堤防整備等を実施予定

「厳木ダムとともに水害に強い地域づくりに関する意見交換会」が令和5年5月29日に設立され、令和6年度3月18日に第2回を開催。

ダムの防災操作やダムからの通知・情報について説明を行い避難に必要な情報、地域防災の事情等について意見交換を実施した旨の説明が行われました。

意見交換も活発に行われました。

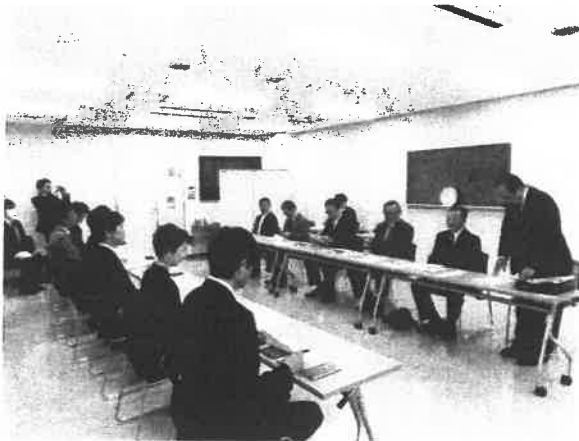
国土交通省九州地方整備局

九州地方整備局にて、「松浦川改修事業促進に関わる要望書」を提出し、中村都市整備委員長が要望内容の説明を行いました。

意見交換では、松浦川だけでなく、昨年7月の豪雨災害による復旧活動についても発言が行われました。

所感として、河川要望は切実であり、市民の生命と財産を守るためにも今後もこうした要望活動を議会全体で行なっていく必要性を感じました。

国土交通省武雄河川事務所



国土交通省九州地方整備局



政 務 活 動 出 張 報 告 書

令和6年 5月 21日

会派名 日本共産党
代表者 黒木 初 様

出張者 黒木 初

次のとおり、政務活動（調査研究）のため出張したので、その概要を報告します。

1 出 張 先

5月14日 東京都
5月15日 神奈川県 海老名市
5月16日 静岡県 裾野市

2 出張日時 令和6年5月14日～令和6年5月16日

3 政務活動事項

5月14日 東京都 国土交通省要望
5月15日 海老名市 海老名市地域づくり推進補助金について
5月16日 裾野市 こどもの権利に関する宣言について
しずおか子育て優待カードについて
ファミリーサポートセンターについて

4 政務活動結果

別紙のとおり

5 費 用

¥75,330円

松浦川改修促進期成会報告書

日本共産党唐津市議団 黒木初

5月14、15、16日の3日間にわたっての要望活動並びに行政視察についての報告を行います。

14日 国土交通省要望

国土交通省1時30分に国土交通省玄関で待ち合わせを行い、国土交通省 堂故 茂 国土交通副大臣に要望書を笹山重成議長が要望書を堂故国土交通副大臣に提出。中村都市整備委員長が要望書に対する説明を行った。

吉岡 幹夫 技監 国会対応で不在の為、面会できていないが、要望書を技監室に提出。

やこり隆史 国土交通大臣政務官。廣瀬 昌由水管理・国土保全局長は国会対応で不在のため、小笠原憲一水管理・国土保全局次長に説明も合わせて要望書を提出を行なった。

この他に奥田晃久水管理・国土保全局 治水課長。江口 大暁水管理・国土保全局水政課長、森本 輝 水管理・国土保全局 河川計画課長に対しても要望書の提出を行なった。

今回は唐津市議会として、改修要望を行ったことは画期的なことであったと感じています。

15日 海老名市市民活動推進補助金について

海老名市は、横浜へのベットタウンとして開発されてきた。平成9年マルイ、西口、ららぽーと小田急線本社機能海老名に移転してきた。

富士フイルム、コカコーラなど、その他方針も事務所を設けている。雇用など経済効果をもたらしている。

その一例として、えびな市民まつりでは、例年4500万の事業費が必要になるが、半分以上を協賛金で賄っている。

人口が14万人を超えているが、今後、農地からの転用が進むとかがえられ、想定を超える速さで15万人を達成すると見込んでいる。

・ 海老名市の市民活動推進について

市民と行政の協働による豊かな地域社会を実現するため、「海老名市市民活動推進条例」を平成22年4月1日に施行

同条第9条において、「海老名市市民活動推進委員会」を設置し、市民活動の推進や市民活動団体等への支援の適否に関することについて、調査、研究及び審議等を実施。

同条例に基づき、市民活動を行う団体が自主的に行う公益性のある活動に対して、財政的な支援を行うことを目的とし、「海老名市市民活動推進補助金」制度を同時に制定。

同条例に基づいた市民活動を支援する施設として、海老名市立えびな市民活動センター設置条例」を平成25年3月1日に施行し、交流館である「ビナレッジ」が同日開館し、レクリエーション館である「ビナスポ」が平成26年11月1日に開館した。

「ビナレッジ」市民の自主的で営利を目的としない活動を支援する施設。ホール・会議室・実習室などがある。団体間の交流やネットワークづくりにも活用させる施設。

「ビナスポ」世代を問わず、誰もが生涯にわたってスポーツやレクリエーションに親しむことができ生きがいを見出せる施設。プール・多目的室・トレーニングルーム・レクリエーションルームを備え、市民の健康増進に関する多様な取り組みを実施している施設。

松浦川改修促進期成会報告書

・海老名市市民活動推進委員会

委員定数 8 名。任期 2 年。委員構成 公募市民、学識経験者、市民活動を行う者

審議事項 市民活動の推進や施策に関すること、市民活動への支援の適否に関すること、市民活動団体に対する財政的支援に関すること

女性委員の構成が 3 割から今期 5 割に。昨年度は、50 代・60 代が多かったが、30～40 代が委員に加わり、若返りが図られた。

委員になる方は、選考会、論文の提出、面接が必要になる。

・市民活動推進補助金について

市民活動を行う団体が自主的に公益性のある活動に対して、財政的な支援を行うことを目的とした補助金であるため各団体が補助要件に適しているかなどの適否を当該委員会で確認をおこなっている。補助金を交付決定を受けた団体が実際に活動をしている現場を当委員会で視察。

アンケート結果などをもとに、補助金をより良い物にするための調査、研究を当委員会で実施。

委員は、全員で行くことになっているが、イベント自体が土日で開催される関係上参加が少く、無償ボランティアによる参加だったが、今期からは、日当を支払うようになった。また、団体を事業視察を行う団体を振り分けできるだけ多くの活動に参加できるような配慮を行なっている。

	12月	1月	2月	3月	4月	
団体	相談・申し込み		回答	プレゼン審査	交付決定	活動
委員会	事前質問 ↑ 申し込み書類の確認					事業視察

る。

・対象になる事業として

主として海老名市内で活動し、市民の自主的な参加によって行われる公益性のある事業で、対象年度内に実施する事業としている。

・対象となる団体

市民の自主的な参加によって行われる公益性のある事業を実施していること

3人以上で構成され、過半数が市内在住、在学、在勤者であること

審査申し込みから結果報告まで責任を持って事業を実施できること

団体の運営に際し、この補助金だけでなく、自主財源（会員会費、事業の参加費など）を確保しており、寄付金を募ったりするなど、団体の運営について自立している（しようとしている）こと

対象となった活動

地域まつり、映画の上映会、各種講座、出前講座の講師代、交流の場を増やす活動をする団体の開催するイベント費用などの補助。

補助金額

入門編 上限10万 1団体1回 充実編 上限20万 1団体2回

自立編 上限30万 1団体につき3回

補助金申請時のプレゼン審査によって限度額内での補助金額を委員会で決めて交付される。

余った金額については補助を受けた団体から返金が行われる。

松浦川改修促進期成会報告書

所感

さまざまな町でコロナ禍の影響がある中で、海老名市では、自走して活動を継続している市民団体が99中89の団体が活動を継続していることはすごいことであり、それだけ市民の方のモチベーションが高いということであると思います。市でも取り入れられるところは取り入れていければと思います。

16日 裾野市 子育て支援策について

・ファミリー・サポート・センター

目的

子育てを地域で支え合う。有償相互援助活動として、子育てサポートをしてほしい人（お願い会員）子育てのサポートをしてい人（まかせて会員）どちらにも登録をしたい人（どっちも会員）が会員となって、一時的な子どもの世話を有償で行うシステムになっている。

流れとして、2週間前までに申し込みを済ませ、お願いする人と顔合わせを行い、特性や子どもに関する話をして、当日を迎えることになる。同じ人を指名できる。

任せて会員は全てが女性で構成されており、年代としては50代から60代。

任せて会員になるためには3日間の講習会を受講する必要があります。

・おねがい会員が減少

就園による需要の低下→委託事業の終了により専任スタッフがいなくなる→コロナ禍により活動の停滞となってしまった。

今後の課題として、任せて会員の不足しているため、現状として、9人の登録があるが、実働で動ける人は3人となってしまっている。コロナ禍を経て会員の取り巻く状態が変化しており、文章だけでなく、電話や講習会の場を活用し、今後の活動について、会員と意見交換を行い、現状把握を行う。

・しずおか子育て優待カード

目的

1、子育て家庭を地域、企業、行政が一体となっている応援する。2、子ども保護者との触れ合いを深める。3、地域との触れ合いの中で子育ての孤立感をなくす。

「こそだて」のロゴがあるところでは、色々な優待を子どもが受けられる。

・こどもの権利宣言

目的

あらゆる環境下において、すべての子どもが安心して健全に成長できる社会の実現は自治体の責務です。この宣言により、子どもが置かれている環境の是正を問わず、子どもの無限の可能性を引き出すことができるよう裾野市の取り組みの方向性を引き出すことができるよう、裾野市の方向性を位置付けるために宣言。

所感

子どもの権利宣言をうけて、一から事業を子ども支線から見直しを行なったそうで、裾野市の本気度が見えるエピソードだなと思いました。ファミリー・サポート・センターの課題はあるものの見習うべき事業であると思いました。



国土交通省

参議院議員

国土交通副大臣
内閣府副大臣
復興副大臣

堂

故

茂

どう

こ

しげる



国土交通省

参議院議員

国土交通大臣政務官

こやり

隆史

〒100-8918
東京都千代田区霞が関二丁目一番三号
電話 〇三(五二五三)八一(代表)
FAX 〇三(五二五三)一五〇三



国土交通省
水管理・国土保全局
次長

小笠原 憲一

OGASAWARA Kenichi

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

Tel: 03-5253-8111 (内線 35-002)

: 03-5253-8074 (直通)

Fax: 03-5253-1598

E-mail: ogasawara-k2k4@mlit.go.jp

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



国土交通省

水管理・国土保全局 河川計画課

河川事業調整官

多田 直人 博士(工学)

TADA Naoto

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

Tel : 03-5253-8111 (内線 35302)

: 03-5253-8443 (直通)

Fax: 03-5253-1602

E-mail: tada-n86fk@mlit.go.jp

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



国土交通省

水管理・国土保全局

治水課長

奥田 晃久

技術士(建設部門)

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3

Tel : 03-5253-8111 (代)

Fax: 03-5253-1604

E-mail: okuda-a86wv@mlit.go.jp

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



中島 慶将

Nakashima Yoshimasa

佐賀県首都圏事務所

課長(国土交通省・内閣府担当)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館11階

電話 03-5212-9073 FAX 03-5215-5231

携帯 090-6024-7595

✉ nakashima-yoshimasa@pref.saga.lg.jp

佐賀県 <https://www.pref.saga.lg.jp/>



神奈川県海老名市



住みたい 住み続けたいまち 海老名

海老名市議会

議長 **森下 賢人**
Morishita Kento

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175-1
TEL. 046-235-4931 FAX. 046-234-4646



住みたい 住み続けたいまち 海老名

海老名市議会 事務局
事務局長

小松 幸也
Komatsu Yukiya

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175-1
TEL. 046-231-2111 (内線21205) FAX. 046-234-4646
komatsu-y@city.ebina.kanagawa.jp



住みたい 住み続けたいまち 海老名

海老名市
市民協働部 市民活動推進課
参事兼課長

近藤 直樹
Naoki Kondoh

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175-1
TEL. 046-235-4794 (直通) FAX. 046-231-2670
E-mail shimin-katsudo@city.ebina.kanagawa.jp
E-mail e-matsuri@city.ebina.kanagawa.jp



住みたい 住み続けたいまち 海老名

海老名市
市民協働部 市民活動推進課
市民活動推進係 係長

林 健太
Hayashi Kenta

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
TEL. 046-235-4794 (直通) FAX. 046-231-2670
shimin-katsudo@city.ebina.kanagawa.jp
e-matsuri@city.ebina.kanagawa.jp



住みたい 住み続けたいまち 海老名

海老名市
市民協働部 市民活動推進課
市民活動推進係 主事補

大滝 康資
Kousuke otaki

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175-1
TEL. 046-235-4794 (直通) FAX. 046-231-2670
E-mail : shimin-katsudo@city.ebina.kanagawa.jp
E-mail : e-matsuri@city.ebina.kanagawa.jp (まつり関係)

静岡県裾野市



説明 健康福祉部子育て支援課係長 若杉ゆかり氏

